



くずまき 町民まつり

2日間で延べ6,100人が集う



第44回くずまき町民まつり（産業まつり、生涯学習フェスティバル）は10月20日と21日の2日間、社会体育館とモウモウ館で開催され、会場は延べ6,100人の来場者で活気にあふれました。

初日のオープニングセレモニーで鈴木重男町長は「まつりを通じて、町の今を再認識し、新しいことを発想する機会にしてほしい」とあいさつ。詰めかけた多くの来場者たちは、心地よい秋晴れの中、多彩なイベントを心行くまで楽しみました。

今回新たに設けられた、関西大学生によるICT教室には、終了間際までプログラミングを教える学生と子どもたちの姿があり、人気の高さがうかがえました。近藤琉心くん（葛巻小1年）は「面白かった」と満足げな笑顔で答えてくれました。

また、昨年まで柔剣道場で行っていたワークショップを体育館内へ移動。体験場所を集中させたことにより、さまざまな年代の人たちが思い思いの楽しみ方を見付けていました。



①大人気のICT教室②体育館の中へ移動したワークショップ③スイーツプロデューサーの酒寄さん④お手製のスイーツ販売

リニューアルオープン!!

産直ハウス くずまき高原



10月1日から「産直ハウスほすなある」が「産直ハウスくずまき高原」に名称が変わりました。

10月7日、リニューアルセレモニーが行われ、会場には町内外から多くの買い物客らが詰めかけにぎわいました。

これまで食堂だった場所約150平方メートルを新たな売り場と事務所に改装。野田、

普代両村の海産物や紫波町の果物、姉妹村の沖縄県北中城村の特産品などが並んでいます。新鮮野菜に加えて、これまで取り扱っていなかった商品の陳列に、来場者たちは足を止め興味深げに品定めしていました。

産直ハウスくずまき高原では、11月4日に軽トラ市の開催を予定。皆さんの来場をお待ちしています。

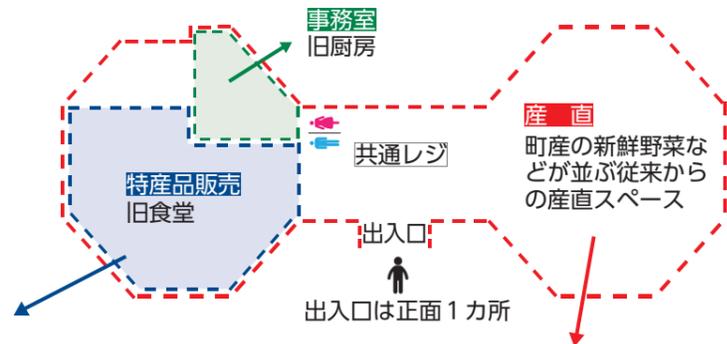
お客さまが気軽に利用できるように、工夫しながら、愛され利用してもらえる店づくりを目指してまいります。



協同組合代表 下屋敷 竹美さん (72歳・中村)



①リニューアルを記念して行われた景品付きもちまき②景品を交換する来場者③ステージを盛り上げる元木コスモス会の皆さん



①野田村、普代村の海産物②姉妹村の沖縄県北中城村の特産品③紫波町の果物



行き交うスペースが広がった産直売場でゆったりと品定めをする買い物客



平成30年度 野菜の共進会



平成30年度町野菜共進会は10月19日に審査が行われ、ホウレン草14点、キャベツ10点、白菜10点、大根7点の計41点が出品されました。

審査の結果、入賞された方々は次のとおりです（敬称略）。



出品された農産物を品定めする来場者（10月21日モウモウ館）

- ▶金賞
ホウレン草 鈴木 りつ (小屋瀬)
- ▶銀賞
ホウレン草 波 紫 昌子 (橋 場)
キャベツ 鹿 島 新一 (志民沢)
白菜 橋 場 フサ子 (小 田)
- ▶銅賞
ホウレン草 川 原 利 男 (名前端)
ホウレン草 波 紫 恵美子 (車 門)
キャベツ 波 紫 春美 (車 門)
白菜 波 紫 春美 (車 門)
大 根 小屋畑 雄 太 (山 岸)